

Bugera 333 INFINIUM/333-212 INFINIUM 333XL INFINIUM/333XL-212 INFINIUM

Hardcore 120-Watt 3-Channel Tube Combo/Amplifier Head
with Reverb and INFINIUM Tube Life Multiplier

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご確認ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している際の搬送の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

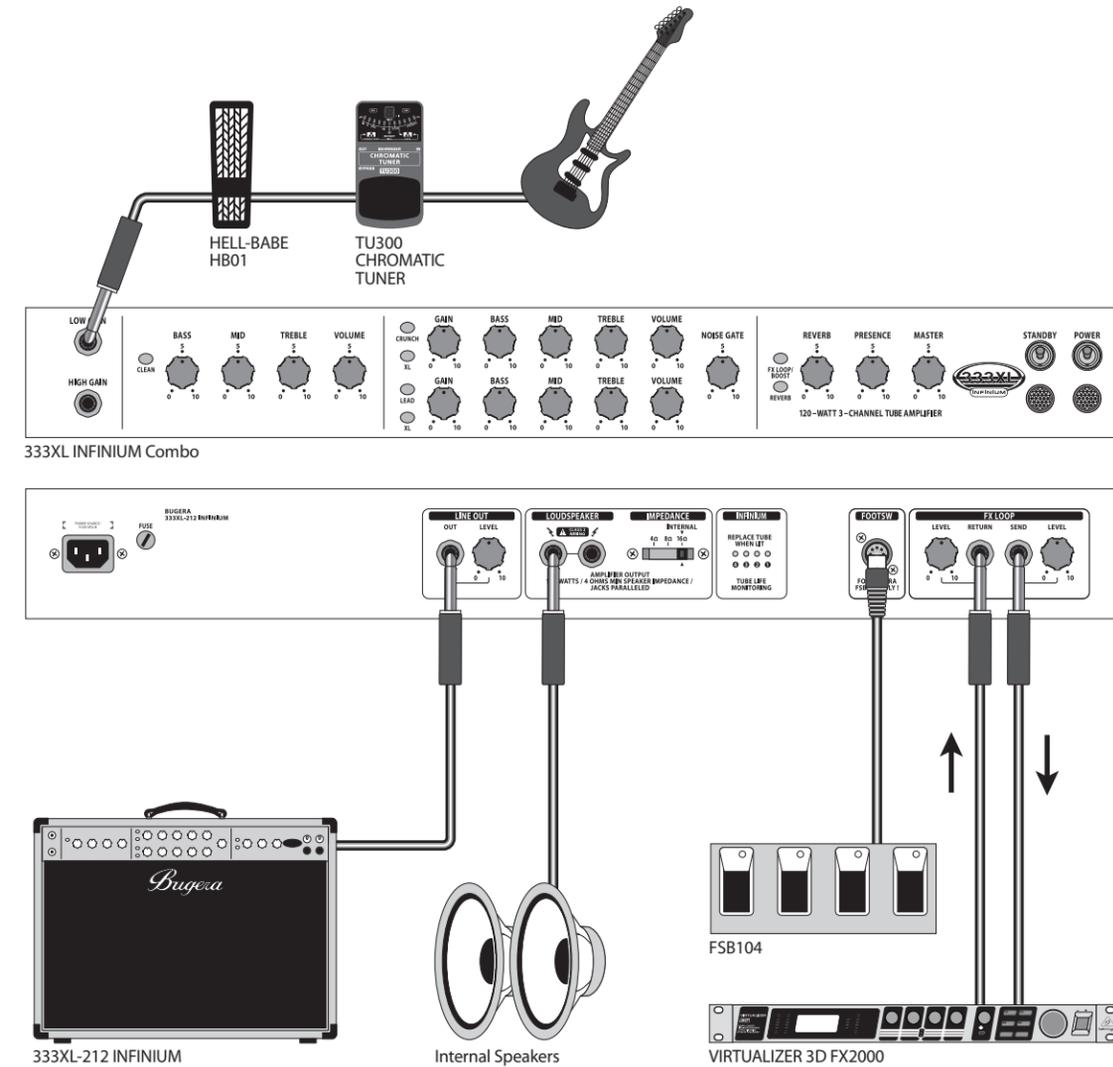
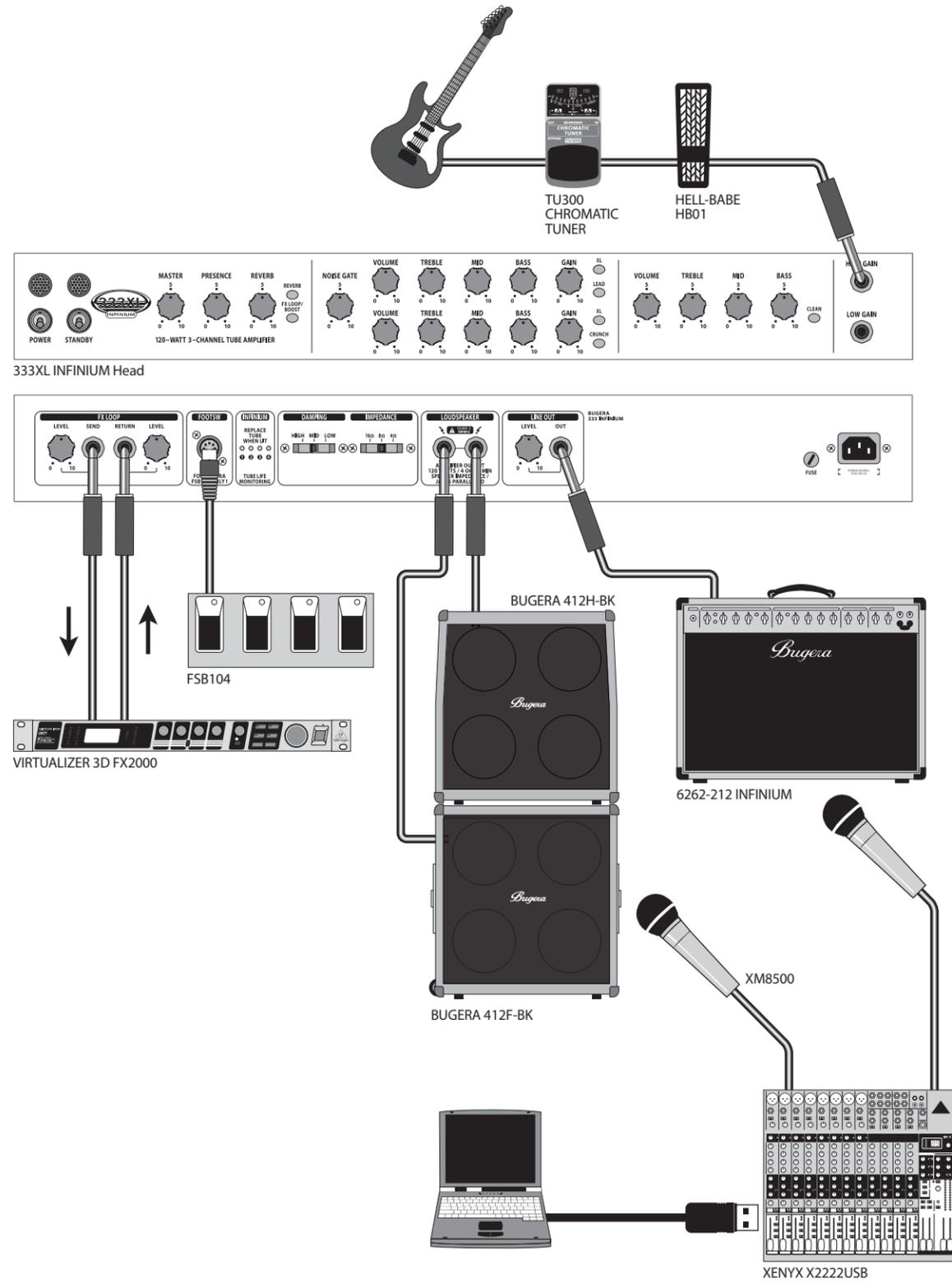
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

Bugera 333 INFINIUM/333-212 INFINIUM/333XL INFINIUM/333XL-212 INFINIUM フックアップ

ステップ 1: フックアップ

レコーディング / ライブ用に信号を分配した設定

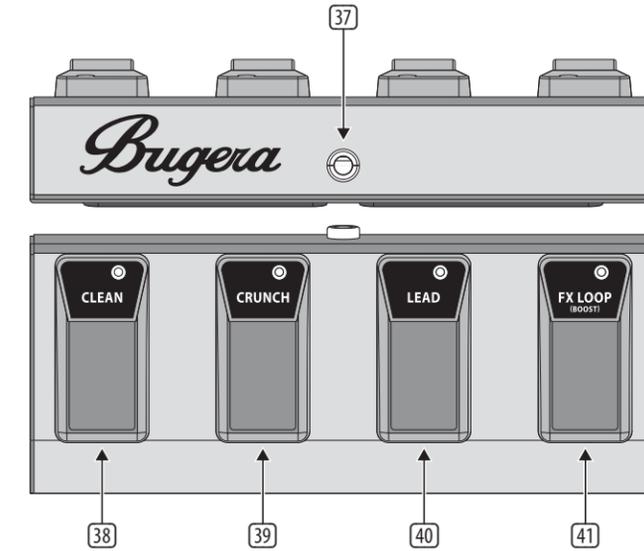
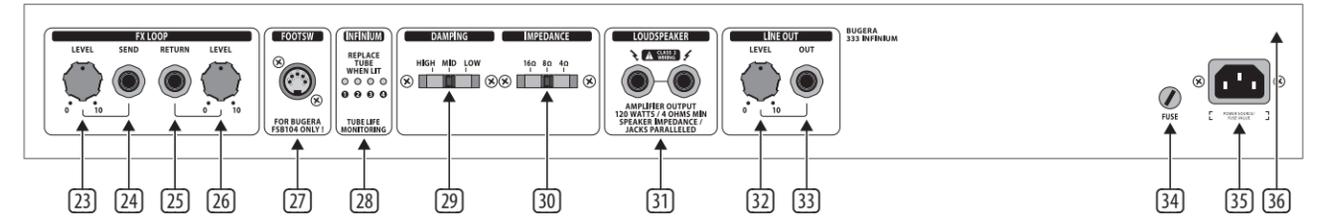
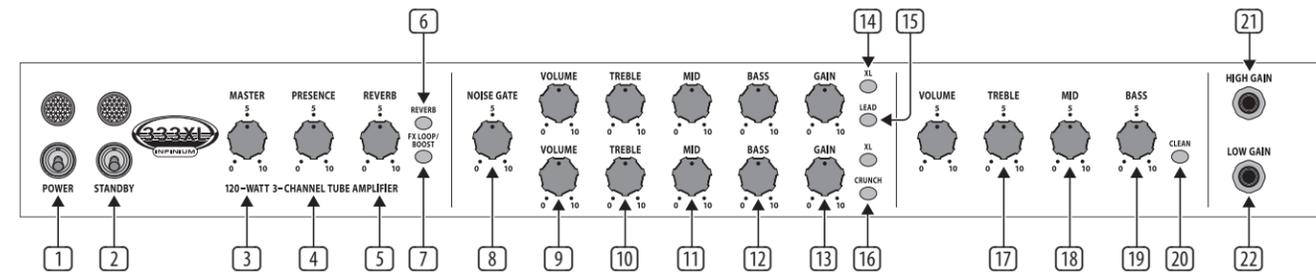
333XL-212 INFINIUM に外部エフェクトを接続



Bugera 333 INFINIUM/333-212 INFINIUM/333XL INFINIUM/333XL-212 INFINIUM コントロール

JP

ステップ 2: コントロール



Bugera 333 INFINIUM/333-212 INFINIUM/333XL INFINIUM/333XL-212 INFINIUM はじめに

JP

ステップ 3: はじめに

フロントパネル

- ① この **POWER** スイッチで BUGERA 本体に電源を供給します。
- ② この **STANDBY** スイッチで本体を **STANDBY** モードに切り替えます。アンプは作動しませんが、真空管は暖まった状態に保たれます (POWER スイッチはオンの状態です)。



注意!

BUGERA 真空管アンプを使用する際は、必ずスピーカーキャビネットに接続してください。スピーカーに接続しないで使用すると故障の原因となります。

- ③ この **MASTER** コントローラーで、BUGERA の全体の音量を調節します。
- ④ **PRESENCE** コントローラーは、アンプの高周波音域を調節します (333XL および 333XL-212 モデルのみ)。
- ⑤ **REVERB** コントローラーで、内蔵されたリバーブ効果の調節をします。
- ⑥ この **REVERB** スイッチで、REVERB 効果をオンにします (スイッチが黄色に点灯します)。
- ⑦ **FX LOOP/BOOST** スイッチで、FX LOOP および BOOST 機能を起動させます (スイッチが緑色に点灯します)。
- ⑧ **NOISE GATE** コントロールは、LEAD チャンネル (333XL INFINIUM および 333XL-212 INFINIUM のみ) に NOISE GATE フィルタの効果を設定します。
- ⑨ この **VOLUME** コントローラーで、3 チャンネルすべての音量レベルを設定します。
- ⑩ LEAD および CRUNCH チャンネルの **TREBLE** コントローラーで、高域周波数帯域を補正します (最大 15 dB までブースト / カットが可能なアクティブ・シェリングタイプ)。
- ⑪ LEAD および CRUNCH チャンネルの **MID** コントローラーは、中周波数帯域を補正します (最大 15 dB までブースト / カットが可能なアクティブ・シェリングタイプ)。
- ⑫ LEAD および CRUNCH チャンネルの **BASS** コントローラーは、低周波数帯域を補正します (最大 15 dB までブースト / カットが可能なアクティブ・シェリングタイプ)。
- ⑬ **GAIN** コントローラーは、LEAD および CRUNCH チャンネルの入力レベルを設定します (CLEAN チャンネルに GAIN コントローラーはありません)。
- ⑭ LEAD および CRUNCH チャンネルに備えられたこの **XL** スイッチで、低周波域におけるアンプのレスポンスを変化させることができます (333XL および 333XL-212 モデルのみ)。低域周波数が持ち上げられることで、より図太いサウンドが得られます。
- ⑮ この **LEAD** スイッチで LEAD チャンネルに切り替えます (スイッチが赤色に点灯します)。
- ⑯ この **CRUNCH** スイッチを押すと、CLEAN チャンネルのゲインレベルがアップします (スイッチが黄色に点灯します)。
- ⑰ このパッシブ **TREBLE** コントローラーで、CLEAN チャンネルの高域を調節します。
- ⑱ このパッシブ **MID** コントローラーで、CLEAN チャンネルの中域を調節します。
- ⑲ このパッシブ **BASS** コントローラーで、CLEAN チャンネルの低域を調節します。
- ⑳ この **CLEAN** スイッチで CLEAN チャンネルに切り替えます (スイッチが緑に点灯します)。

- ㉑ **HIGH GAIN** 入力 (333 および 333-212 モデルでは INPUT)、LOW GAIN 入力よりも 6 dB ほど音量が上がるため、ほとんどのエレキギター用に適しています。

- ㉒ **LOW GAIN** 入力は、HIGH GAIN 入力では過大入力となってしまうような出力レベルの高い楽器の接続に使用します (333XL および 333XL-212 モデルのみ)。

リアパネル



注意!

高熱! 怪我をする危険があります! 装置使用中は、真空管が非常に熱くなり、そのため装置のリアパネルも高温になる場合があります。装置使用中は、リアパネル部のコントローラーや接続端子類に触れないでください。高音部に思わず手が触れてやけどしないように、リアパネル部は壁側に向けて設置するように心がけてください。

- ㉓ このカリブレートされた **LEVEL** コントローラーは、外部エフェクト機器もしくはその他のシグナルプロセッサ (0-10) に送りこまれる信号のレベルを調節します。
- ㉔ **SEND** 出力は、6.3 mm モノラルフォンジャックを使用して外部エフェクト機器の入力端子と接続します。
- ㉕ **RETURN** 入力には、6.3 mm モノラルフォンジャック (シールド) を使用して外部エフェクト機器の出力端子を接続します。
- ㉖ このカリブレートされた **LEVEL** コントローラーは、外部エフェクト機器もしくはその他のシグナルプロセッサ (0-10) から送り戻される信号のレベルを調節します。
- ㉗ 付属の BUGERA FSB104 フットスイッチ接続のために、5 ピン フットスイッチ DIN コネクタが搭載されています。ケーブルの接続は、アンプの電源を入れる前に行ってください。
- ㉘ **INFINIUM TUBE LIFE MONITORING** インフィニウム・バルブライフ・モニタリング・セクションでは、出力真空管の交換タイミングを知ることができます。出力バルブの交換が必要になると、バルブのマッチング LED が継続して点灯します。
- ㉙ この **DAMPING** スイッチで、BUGERA (333 INFINIUM および 333-212 INFINIUM モデルのみ) LOW ダンピングによる高ゲインと豊かなハーモニクス、そして HIGH ダンピングが低ゲインで少ない歪みをもたらします。
- ㉚ この **IMPEDANCE** スイッチで、スピーカーのインピーダンスを切り替えます。使用するスピーカーのインピーダンス値と同じ値に必ず切り替えてください。同じインピーダンス値をもつ 2 台のキャビネットを接続する場合は、そのうち一台のキャビネットが持つ値の半分の値に切り替えます。例えば、2 台の 16 オームキャビネットを使用する場合は 8 オームに、2 台の 8 オームキャビネットを使用する場合は 4 オームにそれぞれ切り替えてください。詳しくは、「BUGERA の接続」の章をご覧ください。
- ㉛ 並列結線された両 **LOUDSPEAKER** 出力 (6.3 mm モノラルフォンジャック) には、スピーカーキャビネットを接続します。最小インピーダンスは 4 オームです。



アンプとラウドスピーカーの接続には、必ずラウドスピーカー用のケーブルを使用してください。楽器用のケーブルやマイクロフォン用のケーブルは使わないでください。

- ㉜ この **LEVEL** コントローラーは、OUT から出力される信号レベルを調節します。
- ㉝ この **OUT** 端子は、例えばパワーアンプ信号を出力し、この音色の特性を保持したまま、他のアンプおよびスピーカーシステムをドライブさせた場合に使用します。
- ㉞ **FUSE** ヒューズは、ヒューズホルダーにあります。



警告: ヒューズの交換は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。ヒューズが飛んだ場合は、必ず同じ種類のものと交換してください。違う種類のヒューズを使用して装置が故障した場合、製品の保証は無効になります。

- ㉟ IEC 電源コネクタに、該当安全基準に準拠した付属の電源ケーブルを接続します。
- ㊱ アンプのシリアルナンバーです。

フットスイッチ

- ㊲ この 5 芯 **DIN** 端子に付属のフットスイッチケーブルを接続します。これを BUGERA の FOOTSW 端子と接続してください。フットスイッチの接続は、必ずアンプのスイッチを入れる前に行ってください。
- ㊳ この **CLEAN** スイッチで CLEAN チャンネルに切り替えます。チャンネルが作動している間、該当する LED が点灯します。
- ㊴ この **CRUNCH** スイッチを入れると、CRUNCH チャンネルが作動します。このチャンネルが有効になっている間、隣接する LED が点灯します。
- ㊵ この **LEAD** スイッチで LEAD チャンネルに切り替えます。チャンネルが作動している間、該当する LED が点灯します。
- ㊶ この **FX LOOP** スイッチで FX LOOP および BOOST 機能を有効にします。FX LOOP が作動している間、該当する LED が点灯します。



危険!

高電圧! 生命の危険!

電源をコンセントから抜いた後も、製品内部には **500 V DC** の高電圧が流れている場合があります。感電死の危険を避けるため、ケースは絶対に開けないでください。内部には、ユーザーがご自分で修理できるようなパーツは含まれていません。製品のメンテナンスは、すべて専門のサービス技術者にご相談ください。装置を使用しない期間は、電源ケーブルをコンセントから外してください。



アンプ内部にあるパーツ類は、高電圧および高音の状態で作動しています。火事や感電といった事故によって怪我をしないように、製品内部には何も落としたり、こぼしたりしないようにお気をつけください。

Bugera 333 INFINIUM/333-212 INFINIUM/333XL INFINIUM/333XL-212 INFINIUM インフィニウム・バルブライフ・モニタリング JP

ステップ 3: インフィニウム・バルブライフ・モニタリング

インフィニウム・バルブライフ・モニタリング回路は、継続的に出力真空管をモニターし、真空管の経年変化に関わらず、最大のパフォーマンス、一貫したトーンを実現します。出力真空管の交換が必要になると、バックパネルの、対応する LED が点灯します。

本電気回路は、各真空管を個別にモニターします。そのため、真空管のタイプを揃えて購入する必要はありません。個々の真空管は、主電力の偏差に関わらず、現在の最適レベルで動作します。

真空管を交換しなければならない時も、新しい真空管を差し込み、すぐにアンプを使用することができます。新しい真空管のバイアスをセットする為に、技術者を頼む必要もありません。EL34/6550- および 6L6/5881 真空管を自由に組み合わせることもできます。

故障した真空管を取り替えるには:

1. アンプの電源をオフにし、真空管が冷えるのを待ってから、取り外し作業を開始します。
2. チューブ固定具を、片手の 2 本の指を使って、シャーシまで押し下げます。そして軽く前後に動かしながら、ソケットからスライドして外せる程度まで真空管を緩め、静かに取り外します。
3. 新しい真空管のセンターコードのピンが、本体ソケットのノッチに適切に対応しているかを確認し、新しい真空管を慎重に挿入します。
4. 新しい真空管がソケットに固定されるまで、ゆっくり押し込みます。
5. スイッチを入れてアンプをスタンバイモードにします。
6. 真空管が温まったら、アンプのスタンバイモードを解除します。
7. インフィニウム・バルブライフ・モニタリング LED はオフになっているはずですが、さあプレイをはじめてください。

 フロントパネルのライトの一つが定期的に点滅する場合には、多くの真空管に問題があるため正常に動作しない事を示しています。この場合、直ちに不具合があるパワーアンプの真空管交換を推奨します。

Bugera 333 INFINIUM/333-212 INFINIUM/333XL INFINIUM/333XL-212 INFINIUM の接続

ステップ 4: の接続



注意!

やけどに注意! 本体作動中は、真空管が非常に熱くなり、そのためリアパネル部表面の温度が高くなります。やけどを防ぐために、ケーブル接続の確認等は、まだ本体が冷えているうちに行ってください。



注意!

BUGERA 真空管アンプを使用する際は、必ずスピーカーキャビネットに接続してください。スピーカーに接続しないで使用すると故障の原因となります。

スピーカーキャビネットを一台しか接続しない場合は、IMPEDANCE スイッチを接続したスピーカーのインピーダンスに合わせてください。2 台のスピーカーキャビネットを接続する場合は、両キャビネットともに同一のインピーダンス値を有している必要があります。

注意: コンボに搭載されたスピーカーは直列に結線されています。インピーダンスは 16 オームです。IMPEDANCE スイッチが適切な値 (コンボアンプの内部スピーカーを使用する場合には 16 オーム) にセットされることを確認してください。

	IMPEDANCE		
	16 Ω	8 Ω	4 Ω
1 x 16 Ω	✓		
1 x 8 Ω		✓	
1 x 4 Ω			✓
2 x 16 Ω		✓	
2 x 8 Ω			✓

技術仕様

プリアンプセクション	
バルブ	
タイプ	1 x 12AX7A 1 x 12AX7B 2 x 12AX7C
HI 入力	
タイプ	¼" TS、アンバランス
インピーダンス	約 470 kΩ
LO 入力 (333XL および 333XL-212 のみ)	
タイプ	¼" TS、アンバランス
インピーダンス	約 44 kΩ
減衰	6 dB
エフェクト送信	
タイプ	¼" TS ジャック、アンバランス
インピーダンス	約 470 Ω
出力レベル	調整可能
エフェクトリターン	
タイプ	¼" TS ジャック、アンバランス
インピーダンス	約 15 kΩ
入力レベル	調整可能
ライン出力	
タイプ	¼" TS ジャック、アンバランス
インピーダンス	6.5 kΩ 以上
レベル	調整可能
パワーアンプセクション	
バルブ	
タイプ	4 x 6L6GC (333 および 333-212) 4 x EL34 (333XL および 333XL-212)
インフィニウム	
バルブ寿命監視 (バイアス)	4 x 32 mA
出力電力	
最大電力	120 W
スピーカーコネクタ	
タイプ	2 x ¼" TS ジャック、アンバランス
負荷インピーダンス	4 Ω/8 Ω/16 Ω、切り替え可能
内部スピーカー (333XL-212 および 333-212 のみ)	
タイプ	2 x 12" ブゲラ、12G70J8
インピーダンス	8 Ω
継続的な電力処理	70 W (IEC)
総インピーダンス	16 Ω (直列接続)
電源 / 電圧 (ヒューズ)	
アメリカ / カナダ	120 V~, 60 Hz (T 3.15 AH 250 V)
英国 / オーストラリア / ヨーロッパ	230 V~, 50/60 Hz (T 1.6 AH 250 V)
韓国 / 中国	220 V~, 50/60 Hz (T 1.6 AH 250 V)
日本	100 V~, 50/60 Hz (T 3.15 AH 250 V)
消費電力	200 W
主電源接続	標準 IEC レセプタクル
寸法 / 重量	
333/333XL INFINIUM	
寸法 (H x W x D)	約 10.8 x 26.8 x 9.8" 約 275 x 680 x 250 mm
重量	約 47 ポンド / 21.5kg
333-212/333XL-212 INFINIUM	
寸法 (H x W x D)	約 20.4 x 27 x 9.7" 約 518 x 687 x 247 mm
重量	約 65 ポンド / 29.5kg

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Bugera